

# 東京2020ボランティア

8/6-7に東京2020ボランティアに参加してきました。

## 【経緯】

ちょうど1年半ほど前にボランティアの募集があったので、応募し抽選で参加が決まりました。

その後、何度か研修を受け、2020年4月ごろに場所が横浜サッカー場の会場ボランティア（日大の分担当のシフトあり

2000-3000名ぐらい？）に決まりました。

しかし1年延期となり、その後もEラーニングで何回も研修を受講し、ユニホームの支給も受け、サッカーの試合8日間の担当シフトも決まり、決勝戦も観戦が出来る予定で準備万端でした。

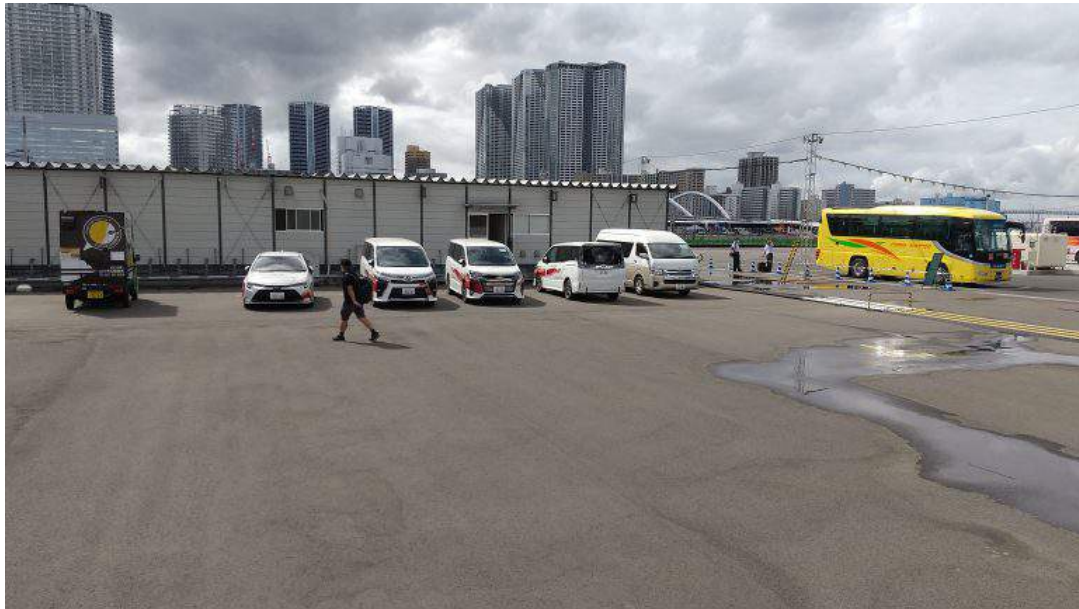
しかし開会式の2週間前ぐらいに無観客がきまり、私が担当する会場ボランティアは全てキャンセルとなってしまいました。

その後、ボランティアの調整、追加募集があり、築地デポ（バス、車の駐車場）に応募し、選手、関係者のための車による送迎ドライバーのボランティアに決まりました。

しかし開会式直後の車の事故多発、専用カーナビのシステムトラブル等により、すぐに延期となってしまいました。

待機して1週間後、今度は築地デポ（バス、車の駐車場）のドライバーさんのサポートボランティアの募集があり、すぐに決まり、8/6-7に東京2020ボランティアに参加できた次第です。





## 【当日】

場所は築地市場の横の広大な敷地、国立競技場の3-4倍、半分は委託のバス（数100台）で、我々のボランティアは、選手村、ホテルにコロナ対策で缶詰めにされている、選手やIOC関係者を競技場に、ワンボックスカーや乗用車に乗せて輸送するドライバー（1000名ぐらい）です。私はさらにそのドライバーさんをサポートする、運転なしのボランティアチーム（300名ぐらい）でした。

サポートボランティアは6；00-23：00内での3交代制で、

私は、8/6は6：00-14：00、8/7は6：00-10：00のシフトでした。

私が最初に担当したところは、朝出勤して来るドライバーの受付チーム（15名ぐらい）でした。ボランティア内容は検温、手の消毒、呼気のアルコール検査、ドリンク配布、誘導等ですが、他にも何でもありの世界で、例えばストレスが多いドライバーさんの話を傾聴し、ドライバーさんを癒す役割、駐車場の入り口で仕事を終えたドライバーさんに手を振って出迎える役割、地元の小学生がボランティア向けに寄贈してくれた朝顔に水をやる役割、洗車、等でした。

私が担当したのは、超重要！、唾液PCR検査キットを渡し、検査方法を説明する係でした。すぐにチームになじみ、楽しく活動が出来ました。

その日のチームリーダーが10：00で終わりだったので、なんとその日の10：00-14：00に私が15名のリーダーに指名され、有難く取り仕切り役を受けました。

皆、自主性、協調性が高く、笑顔（事前研修の効果が絶大）で全く問題なく、非常に楽しくボランティア活動が出来ました。

TVを見ると、バツハ会長、橋本会長、メダリスト達からも、多くの感謝と励ましの御言葉を頂き、かなり感動致しました。難しいオリンピック、困難を乗り越えた大会でした！

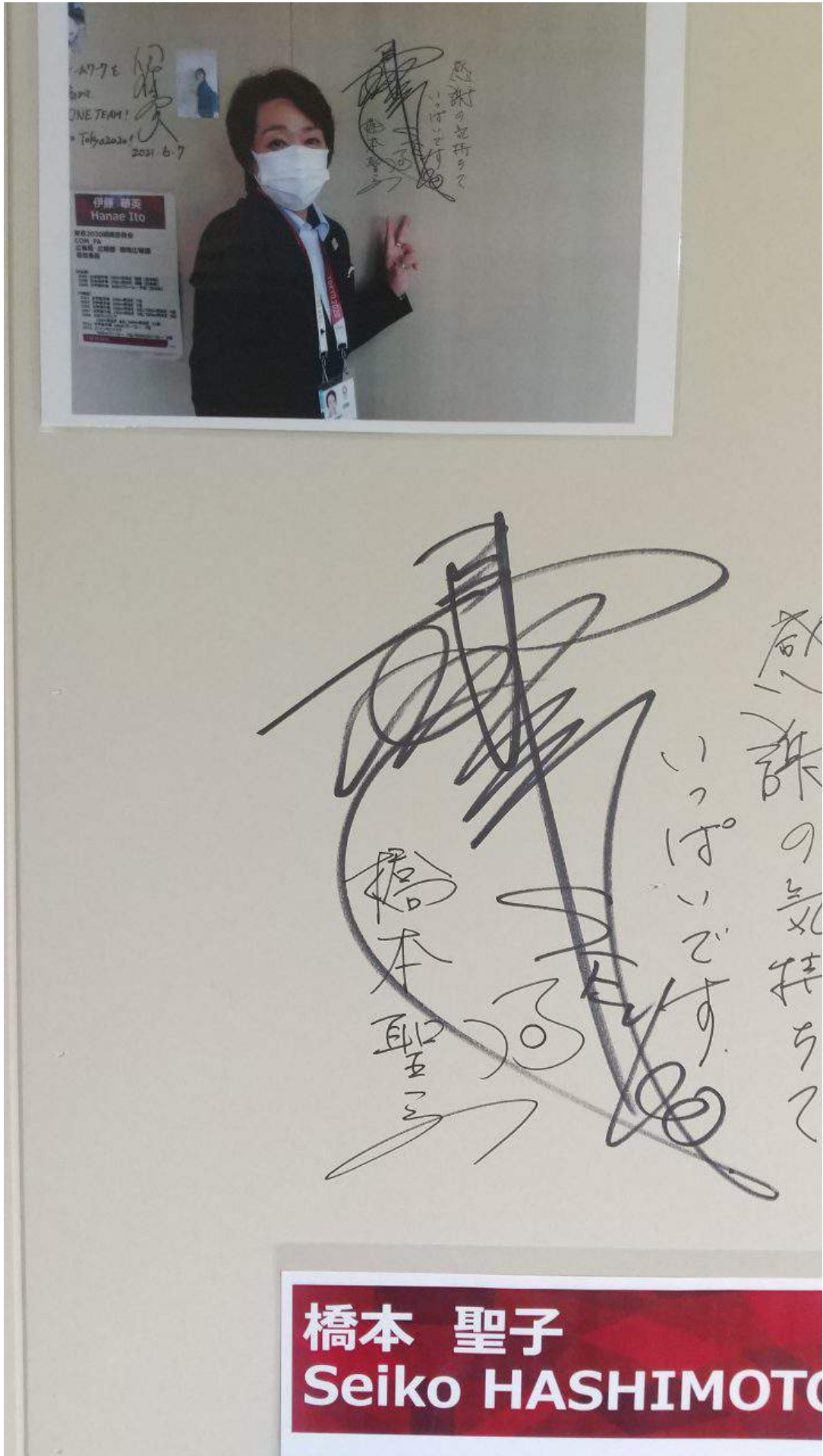
・・・選手と同様に、感謝と喜びのボランティア活動でした。



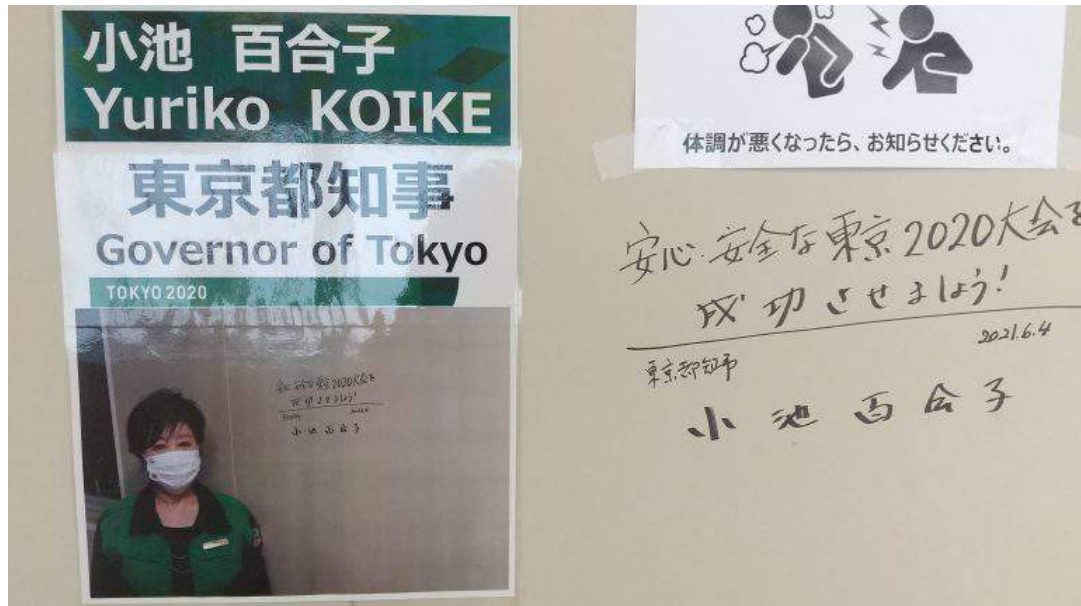


丸川さん、五輪大臣が視察に来られました









ボランティアをされていたことを始めて知りました。貴重な経験だったと感心しています。逆風の中ありがとうございました。





友野晴夫

ボランティア活動は、昔から災害救援ボランティア活動をやっていたので。違和感なく参加しました。今回の東京オリンピックは、第1回目の東京五輪（私が小学5年）で学んだ「参加する事に意義がる」・・・をモットーに、とにかく開催者側に「参加する」という意識で、2年前に気軽に申込み登録をしました。

やはり参加する事、生の体験は貴重でした。

選手の方々が、必ずTVで「ボランティアの方々に感謝です」のコメントをもらい、有難かったです。

卓球の伊藤美誠ちゃんから、なにげなく「お疲れさまで～す」という言葉を直接もらった、というサポートドライバーさんがいました（話を聞きました）。

私にとっては宝物を頂けた・・・という感想です。